

西陵中学校区

令和元年8月発行 第3号

小中一貫教育校創設準備会だより

※竹の里・福西両自治連合会，3校学校運営協議会，P T Aの各代表者，3校校長で組織する「西陵中学校区小中一貫教育校創設準備会」が発行し，両地域の各家庭に配布しています。

小中一貫教育校創設を求める要望書を 京都市教育委員会へ提出しました

本年7月31日（水）創設準備会のメンバーが，京都市教育委員会を訪問し，「全国に誇るべき施設一体型小中一貫教育校（令和7年度を目的）の新設を求める統合要望書」を在田正秀京都市教育長に提出しました。（要望書全文は裏面のとおり）



在田教育長から「子どもたちの未来を最優先に地域の意見をまとめ，小中一貫教育校創設という大変な御決断をいただき，深く感謝します。教育委員会としても御要望を厳粛に受け止め，門川大作市長，市議会の先生方に御理解と御支援をいただき，全国のモデルとなる夢と希望にあふれ，皆様のご期待に応えられる学校づくりに向けて全力で取り組んでまいります。また，閉校後は，地元要望に基づき，自治活動や避難所としての役割を担っており，西陵中学校区においても地元要望を踏まえ検討してまいります。」との言葉をいただきました。

開校準備に向け創設協議会を発足

今後，新校にかかる校舎や教育内容に関する意見交換，新校名・校歌・校章等の地元案決定の他，通学路の安全対策等諸課題に関する検討を行うため，本準備会を引き継ぎ，竹の里・福西両自治連合会，3校学校運営協議会，P T Aの各代表者等からなる「西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」を9月頃に発足し開校に向けて具体的な検討を進めていく予定です。

また，児童生徒の給食，標準服，P T A組織の在り方等，保護者に関わりが深い課題については，3校P T A代表者会を発足し，検討を進める予定です。

協議会の内容等は，「お知らせ」として両地域に全戸配布する予定です。

< 組織図 >

西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会

- 中学校区全体に関わる重要な課題を協議し，地元案を決定。（新校舎や教育内容の意見交換，校名・校歌・校章・通学路の安全対策等）
- 一次統合に関わる課題を協議し，地元案を決定。
- 3校P T A代表者会等からの報告事項を協議し，承認。

報告
提案

3校P T A代表者会

- 保護者に関わりの深い課題を協議し，保護者案を決定し，協議会に報告（児童生徒の給食方法・標準服のあり方・P T A組織等）。

※教育構想等については，3小中学校と教育委員会により検討を進め，協議会に報告・意見交換。

ご意見やご質問などがありましたら，各学校までお寄せください。

■竹の里小

TEL 332-3745 FAX 332-3746
e-mail:takenosato-s@edu.city.kyoto.jp

■福西小

TEL 332-0688 FAX 332-0689
e-mail:fukunishi-s@edu.city.kyoto.jp

■西陵中

TEL 332-0671 FAX 332-0672
e-mail:seiryo-c@edu.city.kyoto.jp

平素は、西陵中学校区の教育の進展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昭和五十年代に設立された竹の里小学校・福西小学校・西陵中学校は、ピーク時でそれぞれ千名を超える子どもたちが学んでいましたが、人口減少や少子化の進行で児童・生徒数が大きく減少する中、関係する三つの小中学校PTAにおいて、西陵中学校区全ての子どもたちのより良い教育環境の在り方に関して熱心な議論が進められ、『小中一貫教育校（施設一体型）創設の早期実現を目指して取組を推進する』ことが決議されました。

PTAからの要請を受け、各自治連合会や学校運営協議会において、PTA決議の内容に関して、子どもたちの教育環境を第一に、真摯に検討を重ねた結果、本年四月までに各自治連合会や三校の学校運営協議会において、小中一貫教育校創設の方向性が確認されました。

そして、五月に両自治連合会や三校の学校運営協議会、PTA等の代表者からなる両地域合同の「西陵中学校区小中一貫教育校創設準備会」を設置して協議を進め、この度、PTA決議を尊重して取組を進めることで合意に達し、西陵中学校区での施設一体型小中一貫教育校の創設を求める要望書を提出するに至ったものであります。

つきましては、次のとおり切に要望いたしますので、教育委員会におかれましては、私たちの意向を十分にご理解いただき、その実現に向けてご尽力いただくようお願い申し上げます。

一、竹の里小学校と福西小学校を統合し、西陵中学校と合わせて、できる限り早期（令和七年四月を目途）に全国に誇るべき施設一体型小中一貫教育校を新設していただきたい。

一、小学校一年生から中学校三年生までの九学年全ての子どもたちが、共に学び互いに高めあい、地域のシンボルとなる魅力溢れる最新の校舎を、現福西小学校敷地に建設するとともに、隣接する西陵中学校のグラウンド等を活用して、部活動等の教育活動が多様に展開できる環境整備に努めていただきたい。

一、新校舎の建設に際しては、竹の里小学校と福西小学校を竹の里小学校敷地で一次統合していただきたい。

一、子どもたち一人一人が、生まれ育った地域に愛着を持ち、自らの未来を創造する力を育めるよう、九学年が共に学ぶ小中一貫教育校の特色を生かした教育内容・指導体制を確立するとともに、学校・保護者・地域が共に子どもたちの教育の充実に努める「地域ぐるみの教育」に尽力いただきたい。

一、新校名など開校に向けた様々な検討課題については、地元・保護者の意向を十分尊重して対応いただきたい。

一、通学路の安全対策については、地元やPTAはもとより警察等の関係機関とも十分連携して、万全を期していただきたい。

令和元年七月三十一日

京都市教育委員会 様

西陵中学校区小中一貫教育校創設準備会

竹の里地域自治連合会 会長 今西 敏史

福西自治連合会 会長 藤本 廣志